

【議会報告会】

○プール指導の民間委託は現在どこに委託しているのか。

⇒議員 令和4年度の実績は、常磐西小学校、大矢知興譲小学校の2校で、四日市スイミングクラブ、あすなろスイミングスクールに委託している。委託事業なので手を挙げた事業者へ委託することになる。

○市の奨学金制度について、高校と大学とで金額が異なるが、金額はどのように決めているのか。また、この金額では少ないのもっと多くするべきと考える。

⇒議員 具体的な根拠まで詰めた議論はできていないが、高校と大学とでは必要な金額に差があることを想定して金額が決められている。この奨学金制度は他の奨学金制度と併用できるため、そこで不足分は補われるのではないかと考える。

○保育士の確保と人材育成が非常に重要と考える。今後どのように取り組んでいくのか。

⇒議員 本市の公立園は定員を上回る応募があり、採用者数は不足しているわけではない。私立園の場合、園が単独で採用するため人材確保が難しく、市としてサポートするために、保育体制の強化、情報発信などの事業に取り組んでいる。また、今年度は保育士が長く仕事を続けられるよう、勤続年数に応じて就労奨励金を支給する事業にも取り組んでいる。

○保育士不足により子供の受け入れ体制が整わないことで待機児童が発生していることも考えられる。誰でも採用すればよいわけではなく、採用試験等で一定の能力のある保育士を採用する必要がある。「保育士の負のイメージ」との記載について、保育士と幼稚園教諭を分ける考え方は最近まであったが、現在はそこにほとんど差はない。議会、市でどのように捉えているのか。

○保育士の給与について、愛知県では公私間格差がほとんどなくなったと聞くが、本市では私立園への補助はあっても私立園の保育士の給与は公立に比べればまだ低い。これを改善し、保育士を目指したい人が少しでも増えるようPRにも努める必要があると考える。

⇒議員

- ・特に若い人は保育士、幼稚園教諭を分ける考えはほとんどない。「負のイメージ」については、保育園も幼稚園も併せて、世界的に見ても、日本は保育士1名で見なければならぬ子供の数が多く、責任の大きい大変な仕事であることを表現している。
- ・保育士の給与については、公私間格差も含めた待遇の低さが保育士確保の足かせになっていると考える。保育士一人が見る子供の数を減らし、余裕を持った保育ができる職場環境が必要だが、そのためには保育士を確保しなければならず、解決には少し時間がかかると考える。

○幼稚園も人材確保に苦慮しているということは認識してほしい。

○保育士、幼稚園教諭は様々なニーズに対応しなければならず、人と人との関係の中で若い先生たちがつぶれてしまう。全ての保育士、幼稚園教員が自分の仕事に誇りを持って子供たちと向き合えるよう環境を整えてほしい。

○勤続1年、3年が経過した保育士に10万円を給付するが、なぜ、1年、3年だけなのか。また、幼稚園教諭への給付は考えていないのか。

⇒議員

- ・保育園、幼稚園どちらも給与が低く、責任が重いというのが社会の現状である。子育てするなら四日市と市長も言っているので、行政に対してそうしたところにもっと予算をつけるよう求めていきたい。
- ・本市では若い先生が様々な責任を背負う中で仕事を続けられるよう、困りごとやメンタルなど様々なフォローを行う幼児教育センターを設置しているので活用してほしい。
- ・10万円の給付については、新しく保育士になった人に少しでも長く続けて欲しいという意味で、勤続1年、3年を迎えた保育士に給付を行う仕組みである。幼稚園教諭への給付についても行政へは提案しており、実現するものと期待している。幼稚園、保育園と分けるのではなく、就学前教育としてひとまとまりに考えて、公私間格差の是正など待遇改善を求めていきたい。

○小学1年生の30人学級ができなくなると聞いたが本当か。

⇒議員 30人学級は本市独自で小学1年生、中学1年生を対象に実施してきたが、教員が確保できないことを背景に今年の4月から30人を超える学級ができてしまったとい

う現状である。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：福祉施策全般について》

○生活保護を受け、障害者手帳を持っている人が知人にいるが、通院の際のタクシー代が生活費を圧迫して困っている。バスは乗車拒否をされて困っている。

⇒議員 生活保護費としてタクシー代を支給してもらえる可能性があるので担当課にぜひ確認してほしい。

○通学路の安全について、生徒への指導、警察との連携、ヘルメット着用の周知をしっかりとしてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○民間プールへの授業の委託について、専門の人でなくても、市内の人を雇って指導してもらうことも一つの方法だと考える。教員の負担を減らしてほしい。

⇒議員 民間プールへの授業の委託ではなく、部活動において、地域の人に委託していこうという取組は始まっている。プールは特に事故があっては大変なのでハードルは高いが、その延長線にあると考える。

○奨学金について、返済型のものは借金になることなど学生にもしっかりと周知するべきである。

⇒議員 8月定例会で審査を行った四日市市奨学金は給付型を基本にしているが、議論の中でも生徒への周知について言及していた。生徒への周知について今後も注視していきたい。

○子育てアプリについて、個人情報が出ないようにセキュリティをしっかりと強化して、逆にセキュリティがしっかりとしていることを普及のPRに繋げてほしい。

⇒議員 アプリ等のセキュリティについてはICT戦略課を中心にしっかりと行っていくよう今後も求めていきたい。そのうえでアプリやAI等の情報技術については活用を進めていくべきと考えている。

○幼児教育センターで保育士の精神面をフォローをしていると聞いたが、相談を聞いてくれないような職場環境では意味がない。職場の環境が改善するような予算の使い方が必要かと思う。

○健康福祉部のARUKU事業について、自分もウォーキング、ランニングしているが、夜は暗くて怖い。田舎にも街灯を設置してほしい。また、ウォーキング系のゲームアプリを活用しても良いのではないかと思う。

⇒議員 ご意見として承る。

○保育士不足について、人間関係で潰れてしまう保育士が多い。職場環境の改善が最優先であり、PRを行うだけでは解消しない課題だと思う。国の配置基準の改善を求めたり、長時間労働などの条件についてしっかりと細かく見ていく必要がある。

⇒議員 保育園の大変さ、責任が重さは十分理解しており、諸外国での保育士の配置基準などについても勉強し、国の基準や労働環境の改善について考えていきたい。

○古い団地など、地域によっては高齢化率が60%~70%になるところもある。避難行動要支援者名簿を作成しても、高齢者が高齢者を助ける構図の中で助けきれないというのが現状である。地区内でも場所によって状況が異なるので、細かく実態を見てほしい。

○保育園、幼稚園、こども園で障害のある子供が増えているが、保育士の人数がしっかり配置されるとは限らず、実際の状況はさらに深刻だと思うので対応すべきである。

⇒議員 ご意見として承る。

○避難行動要支援者名簿は個人情報の壁があり扱いにくさを感じる。

○民生委員児童委員など地域の役職に就いている人の存在を、地域全体で認めることがやる気につながる。新しく家を建てる人の親世代からの伝承が重要だと思う。

⇒議員

・ご意見として承る。

・世代継承のために役職などの義務の部分だけでは難しいため、祭りなどのイベントの機会を通じて楽しいことを同時に守り、遊びと文化を大切にすることでうまくいくのではないかと考える。

○民生委員児童委員について、勉強することや業務量が多く、なり手がおらず、なってもらっても継続が難しい。70歳を超えても働く人が多いことが原因と考える。

⇒議員 民生委員児童委員の欠員も20名ほど発生している。ボランティアという法律での位置づけがあり必要経費の弁償しかできないことが課題である。市からの補助金についても本当に適切に各個人へ分配されているのか検証が必要と考える。

○各地域の役職は以前は名誉職として有志の人が引き受けていた経緯があるが、最近では名誉だけでは引き受けてもらえず、志や思いだけではやっていけない段階にある。

⇒議員 ご意見として承る。

○幼児教育の現場において、子供の特性を受け止めて個別に対応する必要があるケースが増えてきている。今の子供たちは個々がバラバラに遊ぶため保育士の負担が増しているのは事実である。保育を進めて就労を促すだけでなく、親の子育てに対する教育にも力を入れ、親が子育てする喜びを感じられる環境整備も必要と考える。

⇒議員

- ・核家族化により親の子育てが十分に行き届かない家庭に対してこそ地域で子供たちを見ていかなければならない考える。
- ・発達障害を持つ子供が多くなっていると感じる。その親も発達障害を持っているというケースもあり、生活に困窮するなど、貧困の連鎖があると感じている。

《その他：議会運営について》

○議会報告会をこのような形で実施するのは今回で最後となり、今後は若い世代を中心に意見交換をするとの報道を見たが、今後どうなるのか。

⇒議員 様々な世代の方に参加してもらいたいが、なかなかそのようになっていない。今後の議会報告会のあり方を検討しており、予算や決算の報告についてはしっかりやっついこうということで、8月と2月は常任委員会合同で議会報告会を実施する方向で考えている。単純に議会報告会を無くしていく方向ではなく、その他にも若い世代に向けたシティ・ミーティングの実施や、市のイベントへのブース出展等、前向きに実施の手法を検討しているということをご理解いただきたい。

○各常任委員会に対して直接伝えたい意見があるため、これからもこの形の議会報告会を残してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○初めて議会報告会に参加したが、手話通訳者をつけて、資料もしっかり用意されているのに、参加者が少なく残念に感じた。一方、スマホや市議会だよりで情報を得るよりも、直接議員に会って話す方が情報が入ってきやすいので、この方法での開催が減ってしまうのはもったいない。

⇒議員 ご意見として承る。